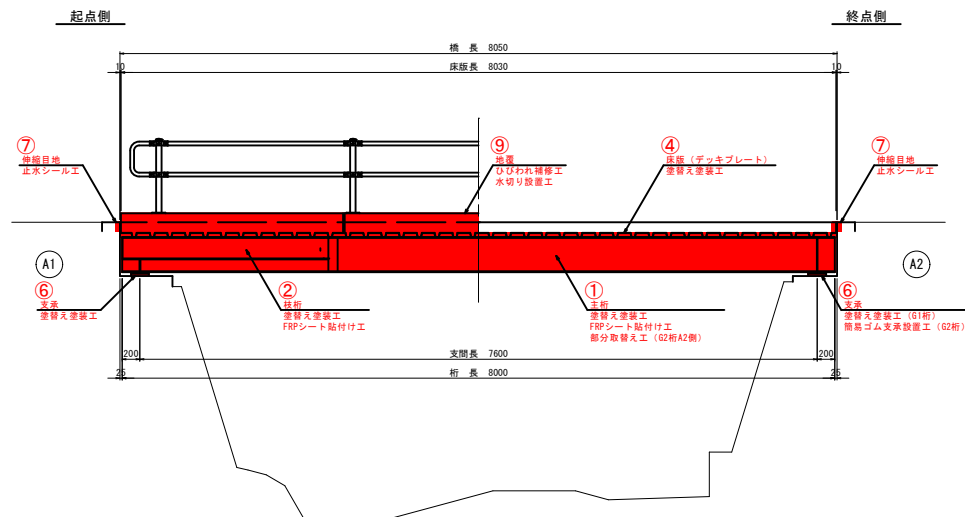
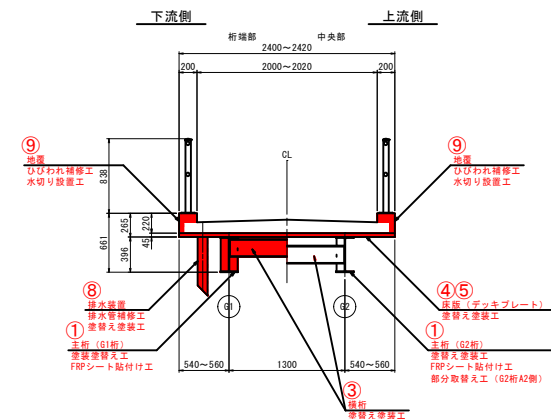


7-21号橋 対策一般図

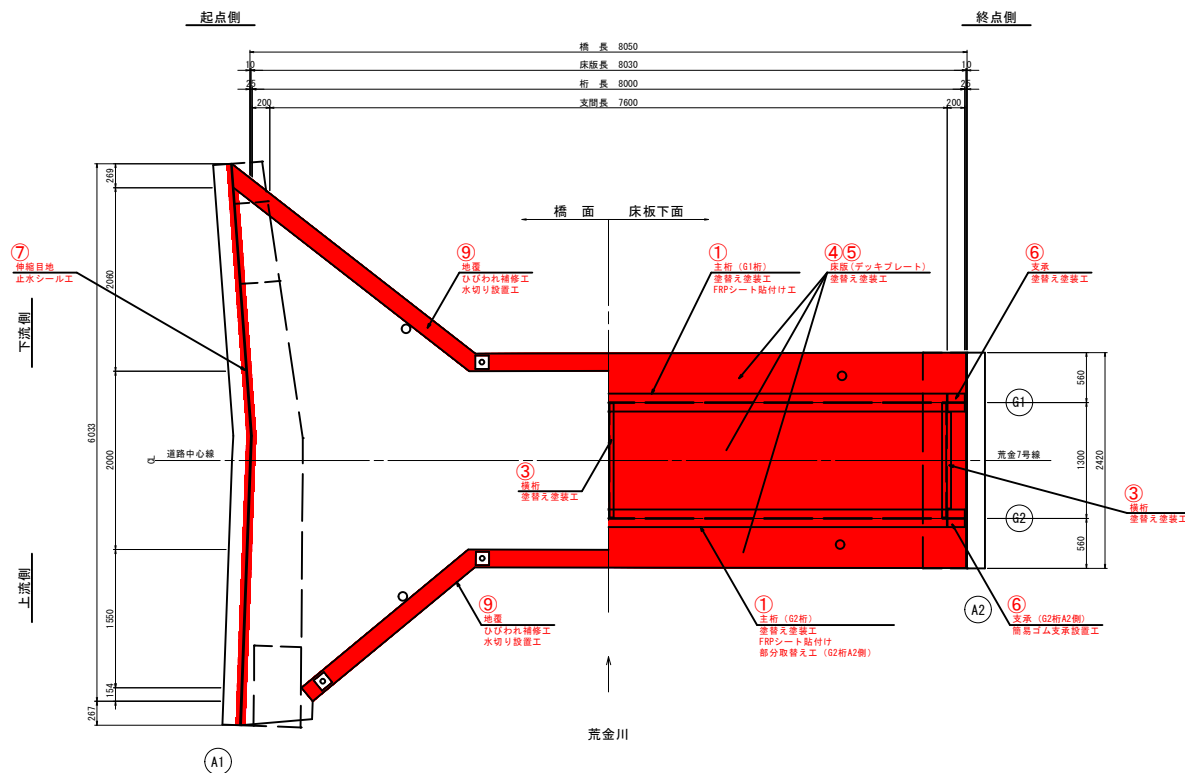
側面図 S=1:30



断面図 S=1:30



平面図 S=1:30

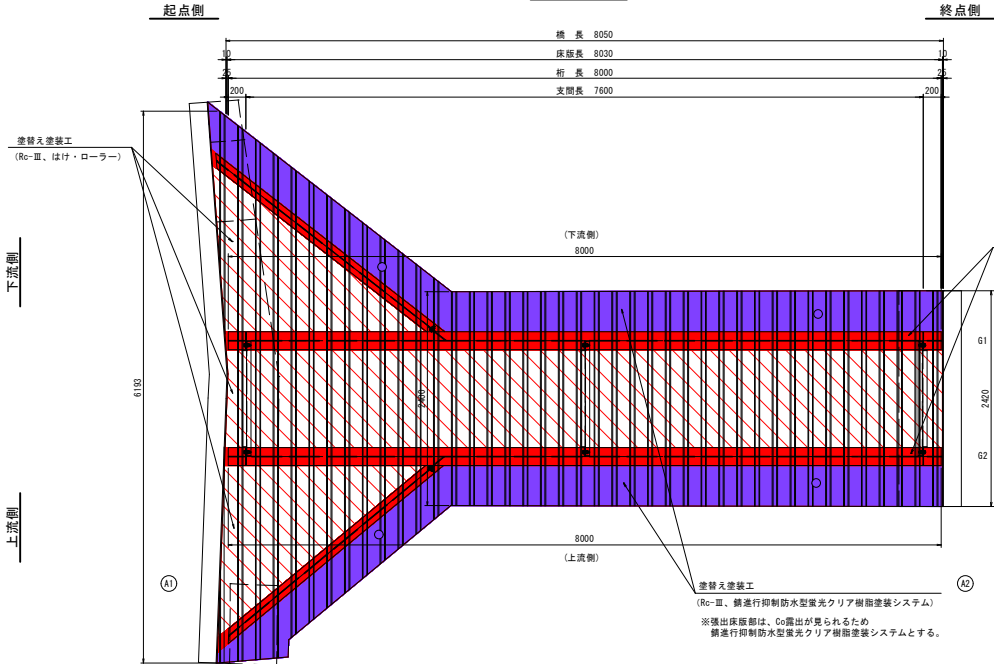


- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

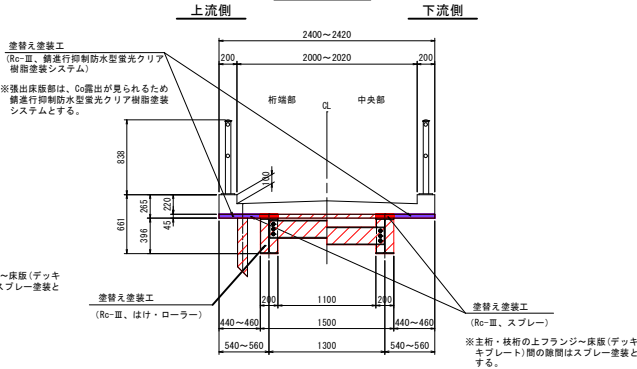
路線名	荒金7号線		
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事			
図名	7-21号橋 対策一般図		
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 10	葉中の内	1
岩美町役場 建設水道課			

7-21号橋 塗替え塗装工図

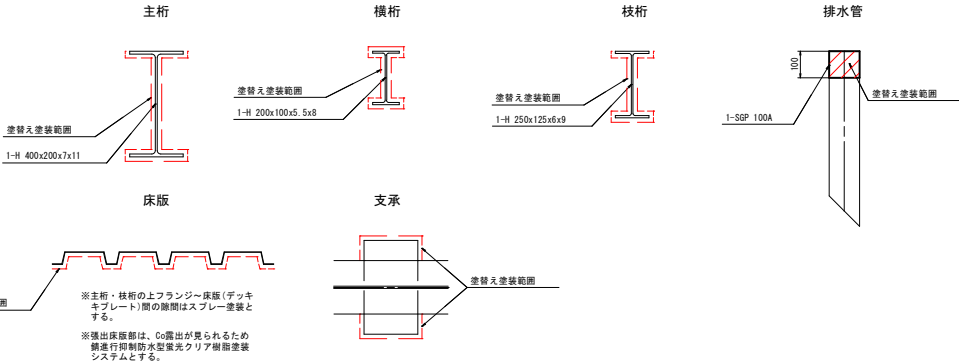
平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



各部材 塗替え塗装範囲 S=1:10



施工手順 (参考)



塗装詳細図 (Rc-Ⅲ)

鋼材	鋼材
Rc-Ⅲ 塗装系	鋼材
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (上塗り)	120g/m ²
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (中塗り)	140g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (下塗り)	200g/m ²
鋼材面 3種ケレン	
鋼材面 湿式剥離剤	

- ・施工に先立ち、現地調査より現場状況を把握し施工計画を行い、併せて必要協議の手続きをする。
- ・塗膜除去は塗膜剥離剤を用いる。本設計では3回塗りを想定しているが、必要に応じて、回数を変更する事。
- ・塗膜剥離剤は、中性型水系剥離剤を想定している。
- ・施工にあたっては、剥離試験を実施し、既設塗膜に合う塗膜剥離剤を採用する事。中性型水系剥離剤のロス率は、7%を想定する。
- ・素地調整程度3種を行う。
- ・腐食、変質している部分の鋼を除去するとともに、旧塗膜の活膜上の付着物等も完全除去する。
- ・素地調整によって生じた旧塗膜のケラダストは、有害物を含んでいることが多いので、廃棄を汚さないように十分留意するとともに、その廃棄は適切に行う。
- ・塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。塗り重ねは、前工程の塗膜が十分乾燥してから行う。

塗装系 (Rc-Ⅲ)

工法	部材名	塗装面積 (m ²)	備考
はけ、ローラー	床版	31.38	
	主桁	22.42	
	横桁	2.86	
	枝桁	5.17	
	排水管	0.16	
	支承	0.13	
小計		62.12	
スプレー	床版	5.43	
	小計	5.43	
小計		10.38	
小計		10.38	
合計		75.78	

塗膜除去工数量

種別	単位	数量	備考
中性型水系剥離剤塗布、2回塗り	m ²	124.24	
鋼材回収・梱込み、2回収	m ²	124.24	

塗装系 (Rc-Ⅲ)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
下地処理	湿式剥離剤 (中性型水系剥離剤)	70	
素地調整	3種ケレン		4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140	2日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	

塗装系 (錆進行抑制防水型蛍光クリ7樹脂塗装システム)

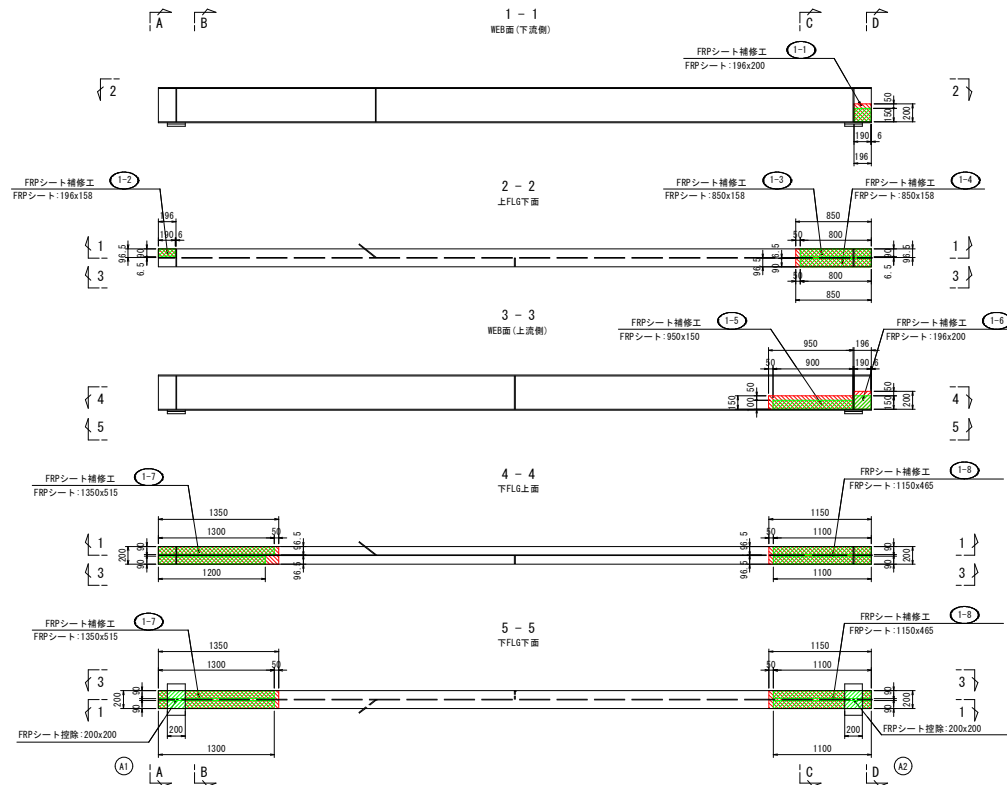
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
下地処理	湿式剥離剤 (中性型水系剥離剤)	70	
素地調整	3種ケレン		
下塗り工	浸透性錆進行抑制型防水型樹脂塗料 (7129M/7129-707-707)	100	材料仕様によること
下塗り工	耐塩害性防錆防水型717樹脂塗料下塗り (7129M/7129-707-707)	150	
上塗り工	耐塩害性防錆防水型717樹脂塗料上塗り (7129M/7129-707-707)	200	

- 【注記】
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

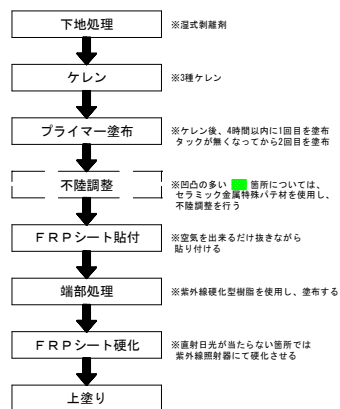
路線名	荒金7号線
町道荒金7号線 (無名橋101) 橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 塗替え塗装工図
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示
単位	mm
図号	全 10 葉 中の内 2
岩美町役場 建設水道課	

7-21号橋 FRPシート補修工図(その1)

主桁G1

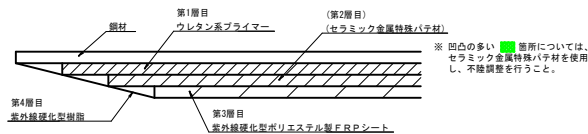


FRPシートエフロー図

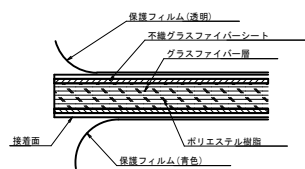


※紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシートは
NETIS NO. CG-990022-V(設計比較対象技術) 同等品以上とする。

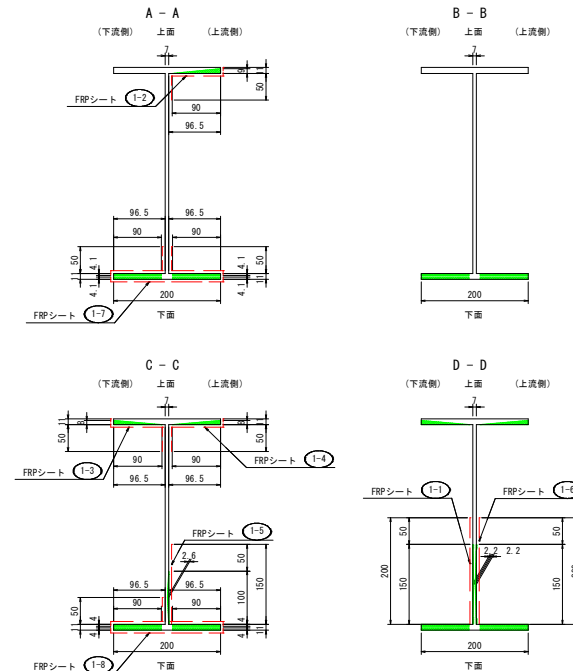
桁端部詳細図



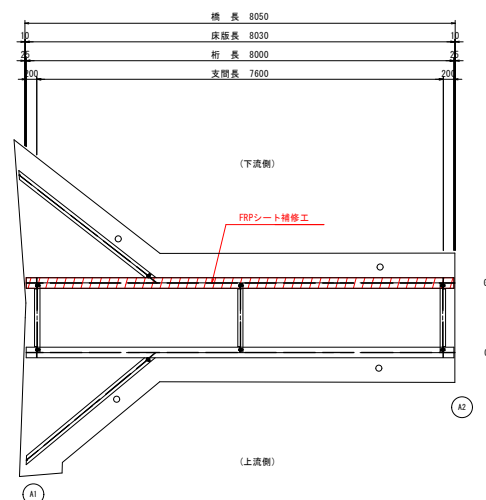
FRPシート詳細図



断面図 S=1:5



配置図



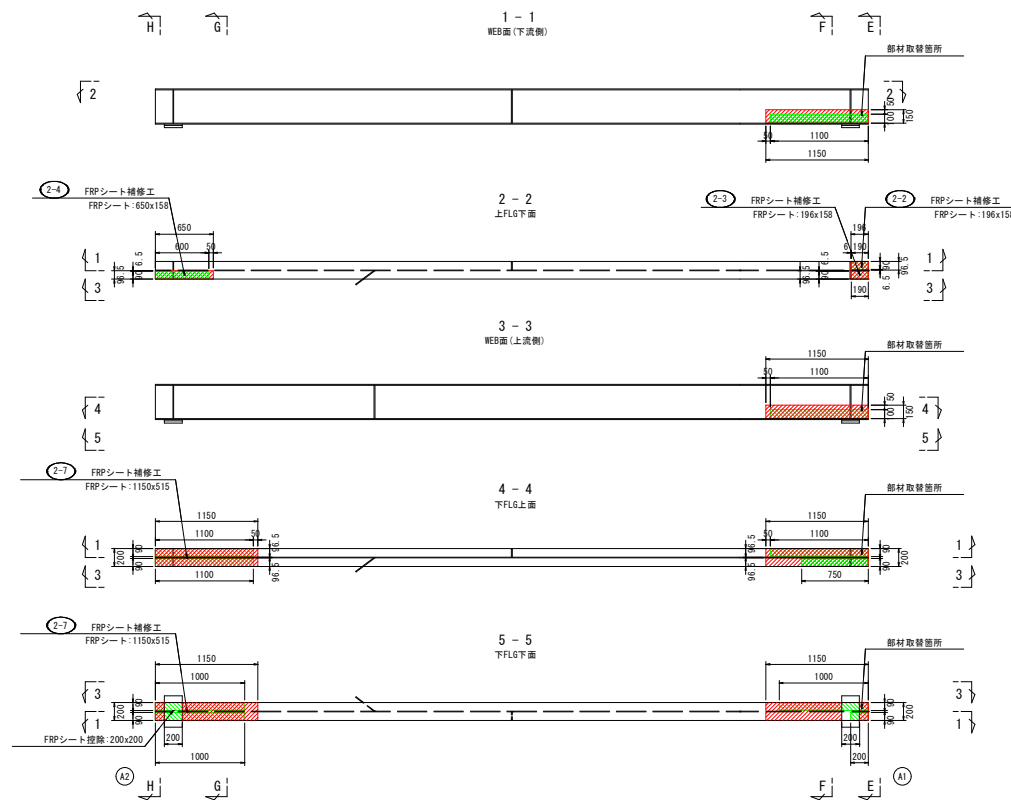
注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。
4. 凹凸の多い箇所については、セラミック金属特殊パテ材を使用し、不陸調整を行うこと。

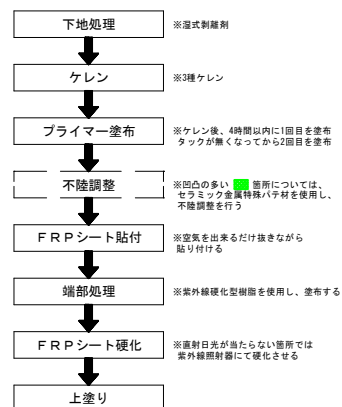
路線名	荒金7号線
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 FRPシート補修工図(その1)
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 10 葉中の内 3
岩美町役場 建設水道課	

7-21号橋 FRPシート補修工図(その2)

主桁G2

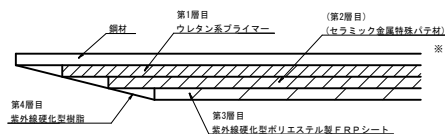


FRPシートエフロー図

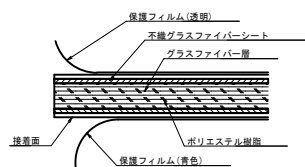


※紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシートは
NETIS NO. 08-990022-V(設計比較対象技術) 同等品以上とする。

桁端部詳細図

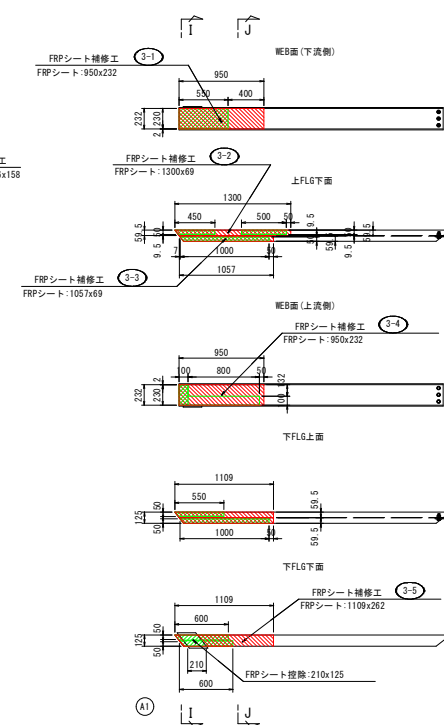


FRPシート詳細図

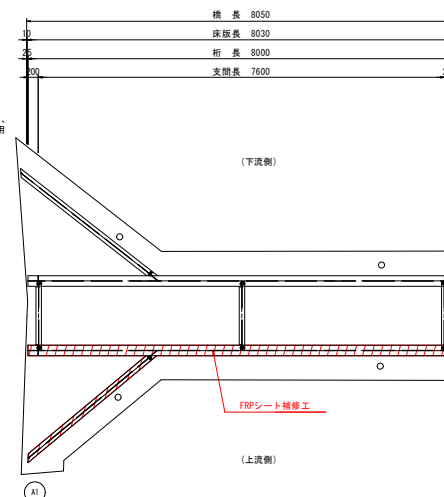


上流側桁

S=1:30

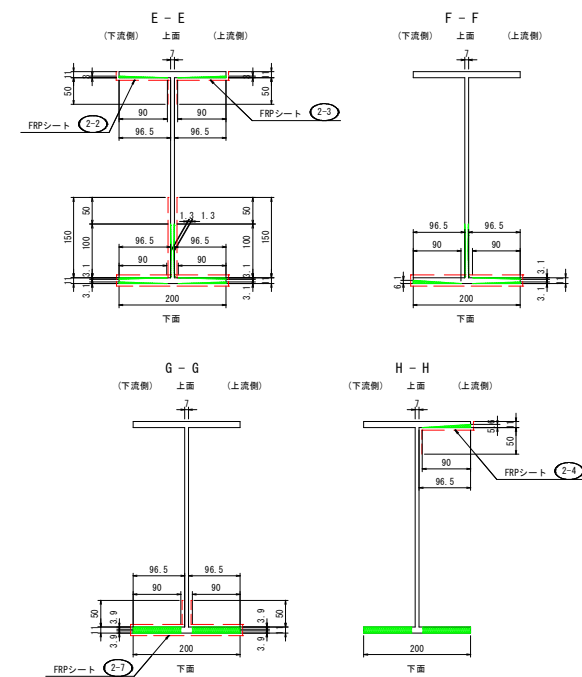


配置図



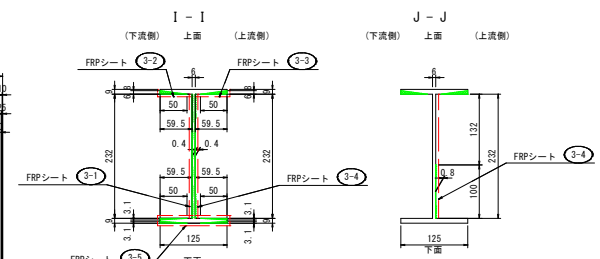
断面図

S=1:5



(上流側) 桁断面図

S=1:5



- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認すること。
 3. 着しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。
 4. 凹凸の多い箇所については、セラミック金属特殊パテ材を使用し、不陸調整を行うこと。

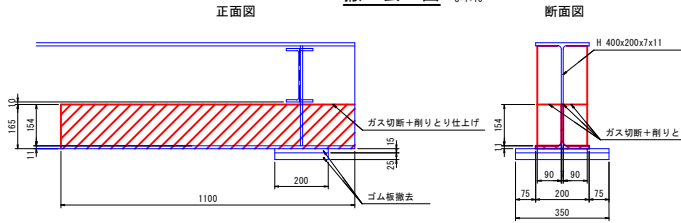
路線名	荒金7号線
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 FRPシート補修工図(その2)
位置	岩美郡岩美町大字 荒金地内
縮尺	図示
単位	mm
図号	全 10 葉中の内 4
岩美町役場 建設水道課	

7-21号橋 部材取替工図

下流側主桁

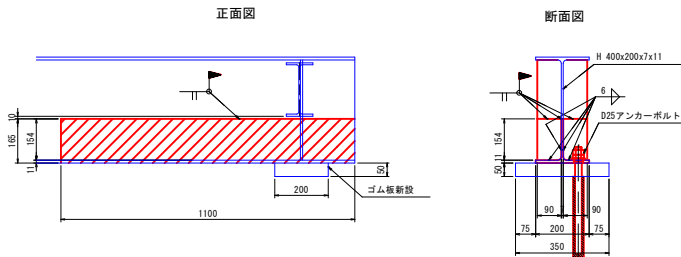
撤去図

S=1:10



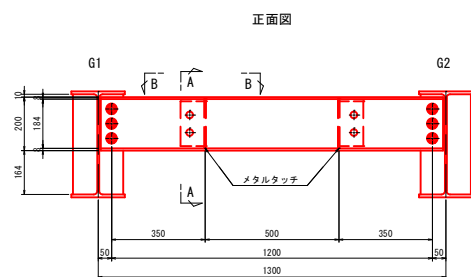
補修図

S=1:10



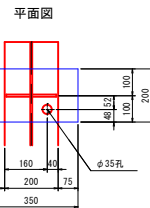
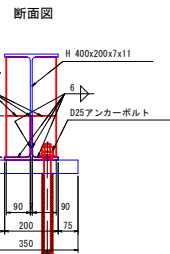
ジャッキアップ設置図

S=1:10



数量表

項目	単位	合計
撤去重量	kg	17.9
当て板補修重量	kg	26.2
現場孔明け	φ26.5FL t=5.5 水平向	個 4
高力ボルト本線工	TGB M22x65 (S10T)	本 4
ガス切断+削りとり仕上げ長	m	1.270
現場溶接延長	m	6.336
撤去ゴム板	200x15x350	個 1
撤去ゴム板	200x25x350	個 1
新設ゴム板	200x50x350	個 1
撤去コンクリート	m3	0.008
モルタル	m3	0.006
小型ジャッキ	10tタイプ	基 2

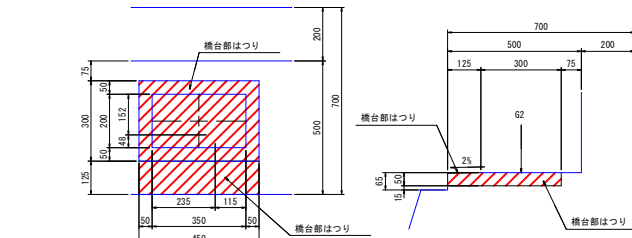


製作数:1
1-H 400x200x7x11x1100 (SS400)
2-PL 90x9x154
1-ゴム 200x15x350
1-ゴム 200x25x350

製作数:2
1-SPL PL 90x9x168 (SS400)
1-L 90x90x6x194 (SS400)
2-TGB M22x65 (S10T)

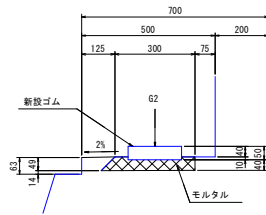
橋台部はつり詳細図

S=1:10



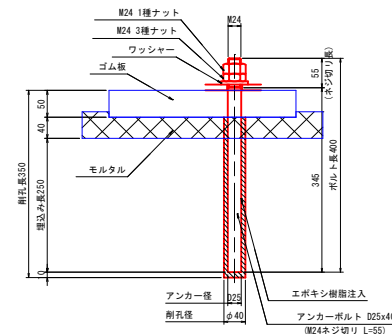
新設ゴム詳細図

S=1:10



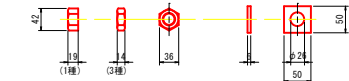
アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融処理を施すものとする。

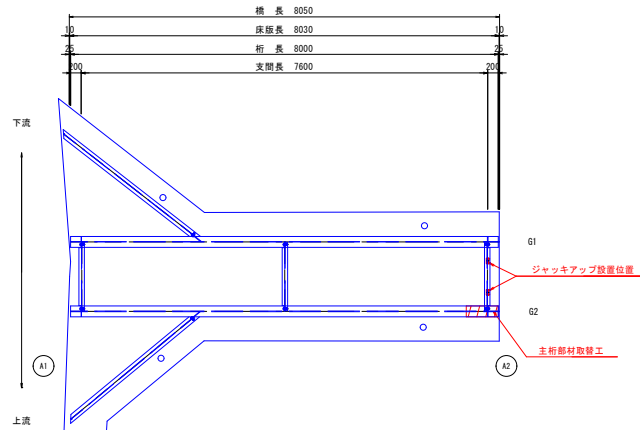
ナット 座金



アンカーボルト1基当り (製作数:1基)

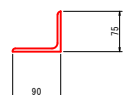
1-ANCHOR BOLT D25x400 (SD345)
1-NUT M24 (1種) (SS400)
1-NUT M24 (3種) (SS400)
1-WASHER PL 50x6x50 (SS400)

配置図

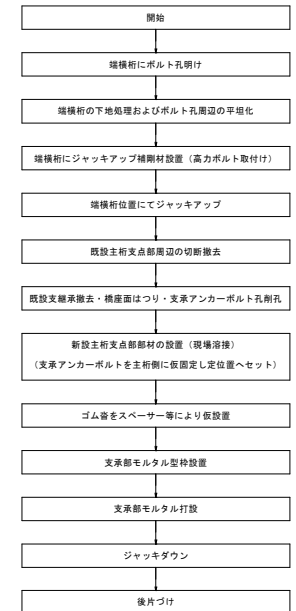


L鋼詳細図

S=1:5



部材取替補修フロー

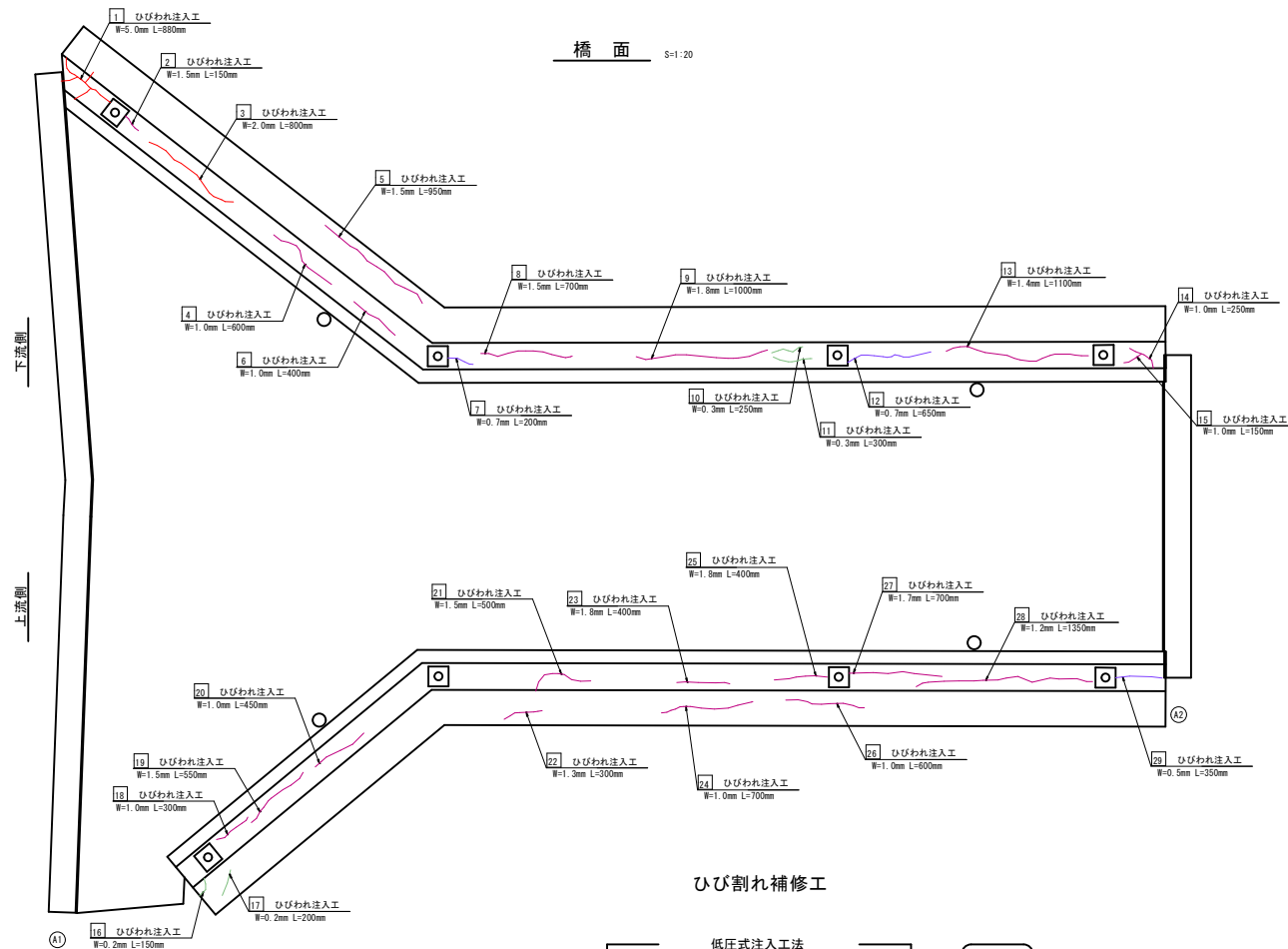


注記)

- 特記なき材質は、SM400Aを示す。
- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 換桁でのジャッキアップを想定している。
ジャッキアップは橋脚対称付近によせて行うこと。
- 下部工を打った箇所については2%程度勾配を設け排水経路を確保すること。

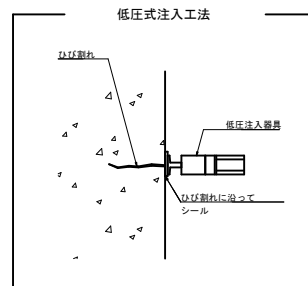
路線名	荒金7号線
町道荒金7号線 (無名橋101) 橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 部材取替工図
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 10 葉中の内 5
岩美町役場 建設水道課	

7-21号橋 ひび割れ補修工図



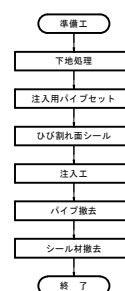
ひびわれ注入工 数量表

位置	番号	幅 (mm)	長さ (m)	箇所	備考
地覆	1	5.000	0.880	1	
地覆	2	1.500	0.150	1	
地覆	3	2.000	0.800	1	
地覆	4	1.000	0.600	1	
地覆	5	1.500	0.950	1	
地覆	6	1.000	0.400	1	
地覆	7	0.700	0.200	1	
地覆	8	1.500	0.700	1	
地覆	9	1.800	1.000	1	
地覆	10	0.300	0.250	1	
地覆	11	0.300	0.300	1	
地覆	12	0.700	0.650	1	
地覆	13	1.400	1.100	1	
地覆	14	1.000	0.250	1	
地覆	15	1.000	0.150	1	
地覆	16	0.200	0.150	1	
地覆	17	0.200	0.200	1	
地覆	18	1.000	0.300	1	
地覆	19	1.500	0.550	1	
地覆	20	1.000	0.450	1	
地覆	21	1.500	0.500	1	
地覆	22	1.300	0.300	1	
地覆	23	1.800	0.400	1	
地覆	24	1.000	0.700	1	
地覆	25	1.800	0.400	1	
地覆	26	1.000	0.600	1	
地覆	27	1.700	0.700	1	
地覆	28	1.200	1.350	1	
地覆	29	0.500	0.350	1	
集計				29	



【注記】

- 樹脂系注入材の場合、注入箇所が潮水や湿潤状態にあると、接着不良を起こす可能性があるため、湿潤面用注入材を用いること。
- セメント系注入材の場合、注入箇所が注入箇所が乾燥状態にあると、目詰まりを起こすため、湿潤状態にすること。
- ひび割れ箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。



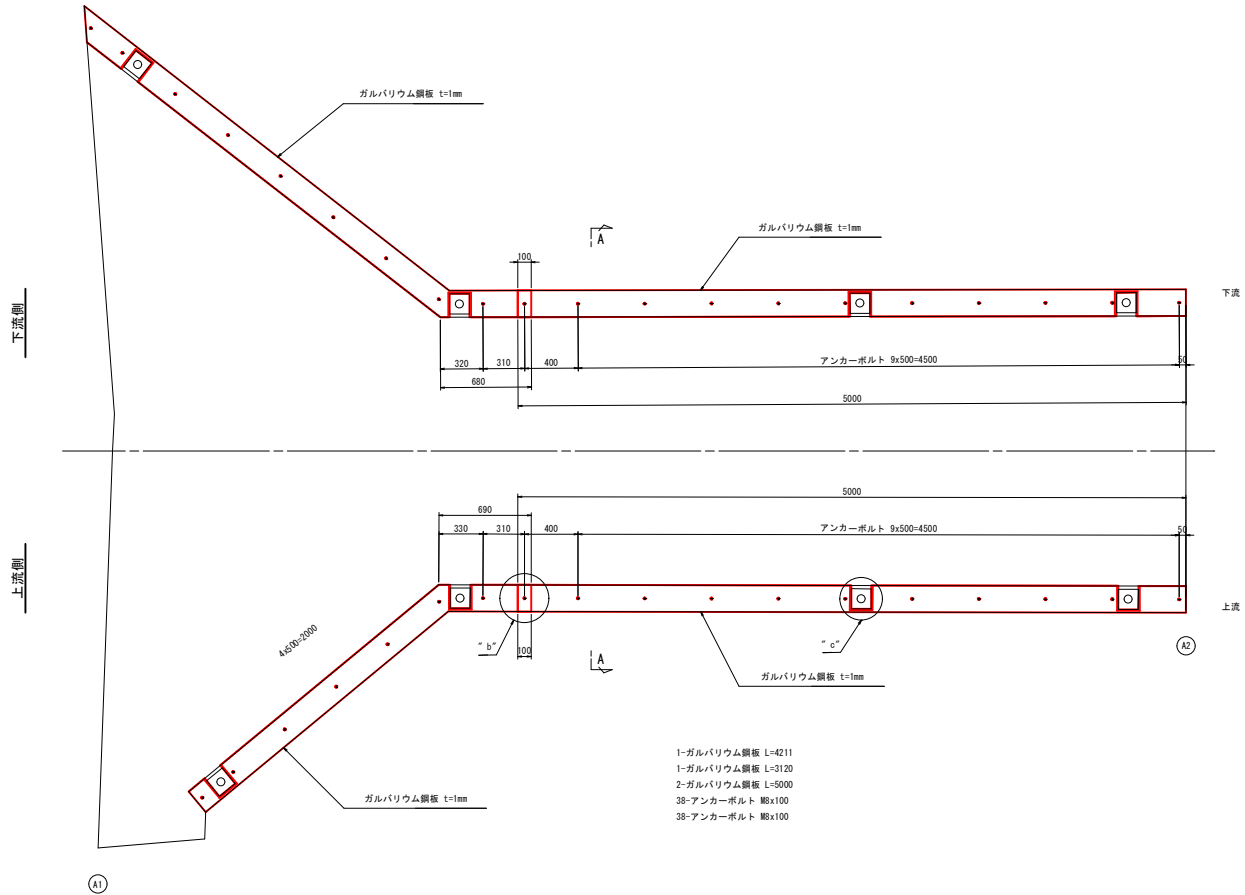
【注記】

- 特記なき材質は、SM400Aを示す。
- 施工の際は、現地再測を行い図面と照合のこと。
- 換断でのジャッキアップを想定している。
ジャッキアップは極力対称付近に於て行うこと。
- 下部工をばった箇所については2%程度勾配を設け排水経路を確保すること。

路線名	荒金7号線
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 ひび割れ補修工図
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 10 葉中の内 6
岩美町役場 建設水道課	

7-21号橋 水切り設置工図

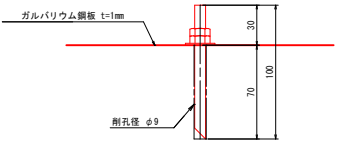
S=1:20



1-ガルバリウム鋼板 L=4211
1-ガルバリウム鋼板 L=3120
2-ガルバリウム鋼板 L=5000
38-アンカーボルト M8x100
38-アンカーボルト M8x100

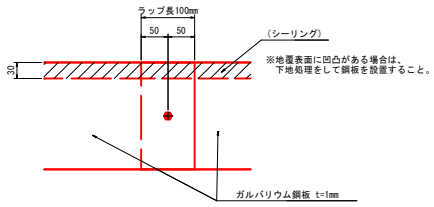
"a" 部詳細

S=1:2



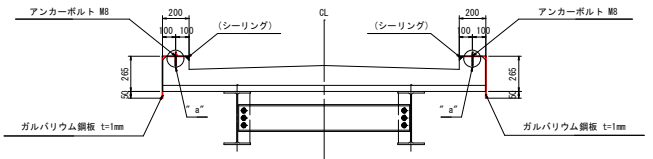
"b" 部詳細

S=1:5



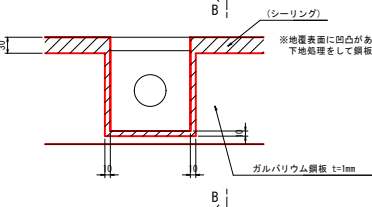
A - A

S=1:20



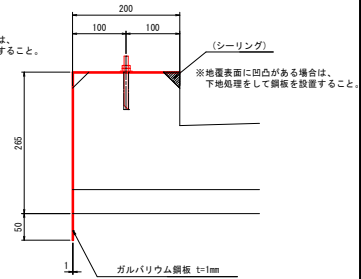
"c" 部詳細

S=1:5

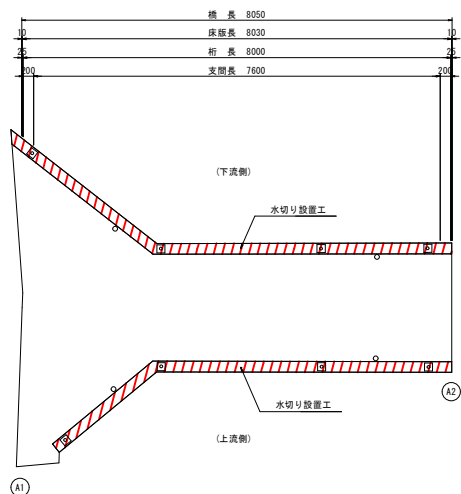


B - B

S=1:5



配置図



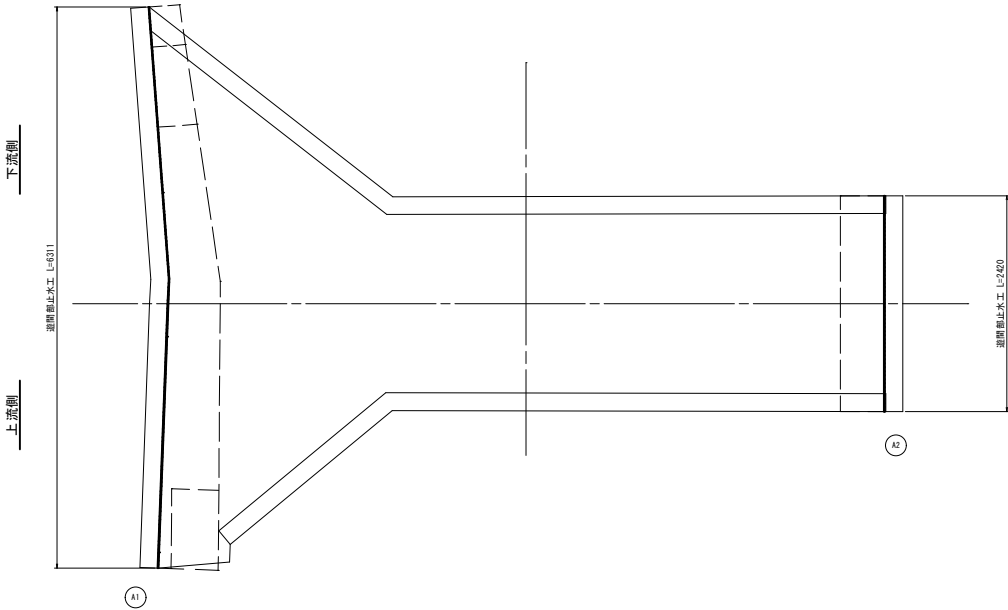
- 注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計画をもとに作成した図面である。
 2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 3. 地覆に断面欠損・うきなどが確認された場合は、「断面補修工図」を参照すること。
 4. 支柱などと干渉する場合は、ガルバリウム鋼板を加工すること。
 5. 地覆表面に凹凸がある場合は、下地処理をして鋼板を設置すること。

アンカー品質規格等

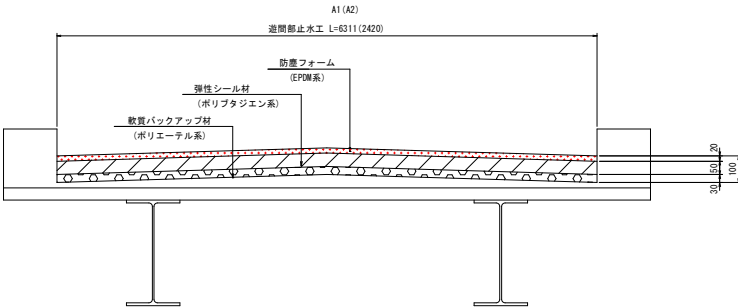
項目	規格
アンカーボルト (接着系カプセル型固着剤)	サイズ M8×100 材質 SM590A 強度区分 50以上 長期許容引張強度 5.5kN (560kgf) 以上

7-21号橋 伸縮目地止水シール工図

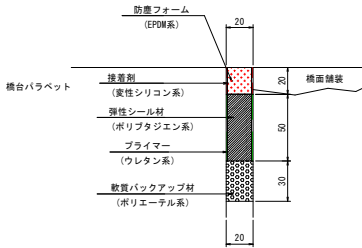
平面図 S=1:30



断面図 S=1:10



詳細図 S=1:2



ポリブタジエン系弾性シール材品質規格

項目	単位	規格	試験方法
硬度	度	10±5	JIS K 7312
破断時の伸び	%	350以上	JIS K 5758
最大引張応力	kN/m2	80以上	JIS K 5758
50%圧縮応力	%	100±50	JIS K 6767
硬化時間	日	3以内	硬化安定化までの日数
スランプ	mm	3以下	JIS K 1439

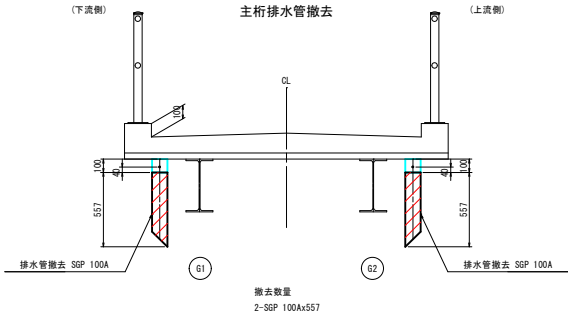
- 注記)
- 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
 - 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
 - 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

路線名	荒金7号線		
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事			
図 名	7-21号橋 伸縮目地止水シール工図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 10 葉中の内 8		
岩美町役場 建設水道課			

7-21号橋 排水管補修工図

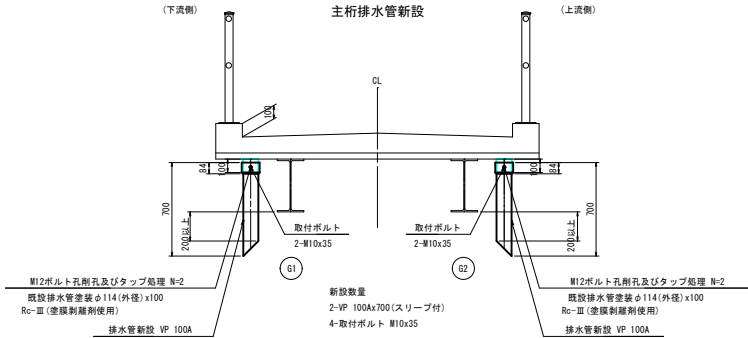
断面図

S=1:20



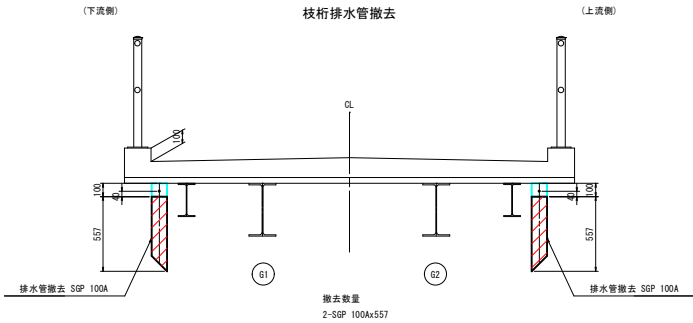
断面図

S=1:20



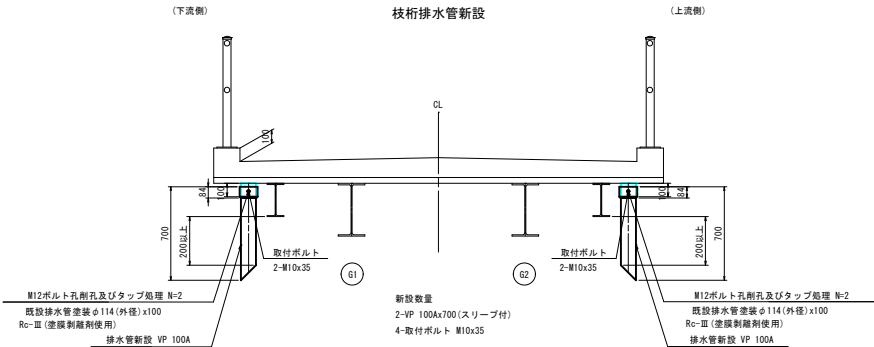
断面図

S=1:20



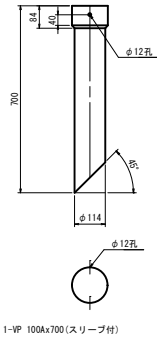
断面図

S=1:20

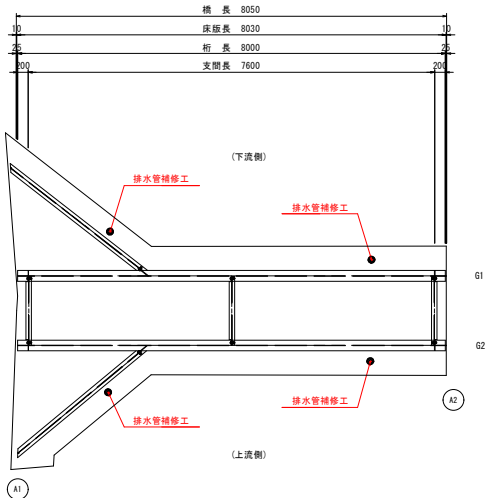


直管詳細

S=1:10



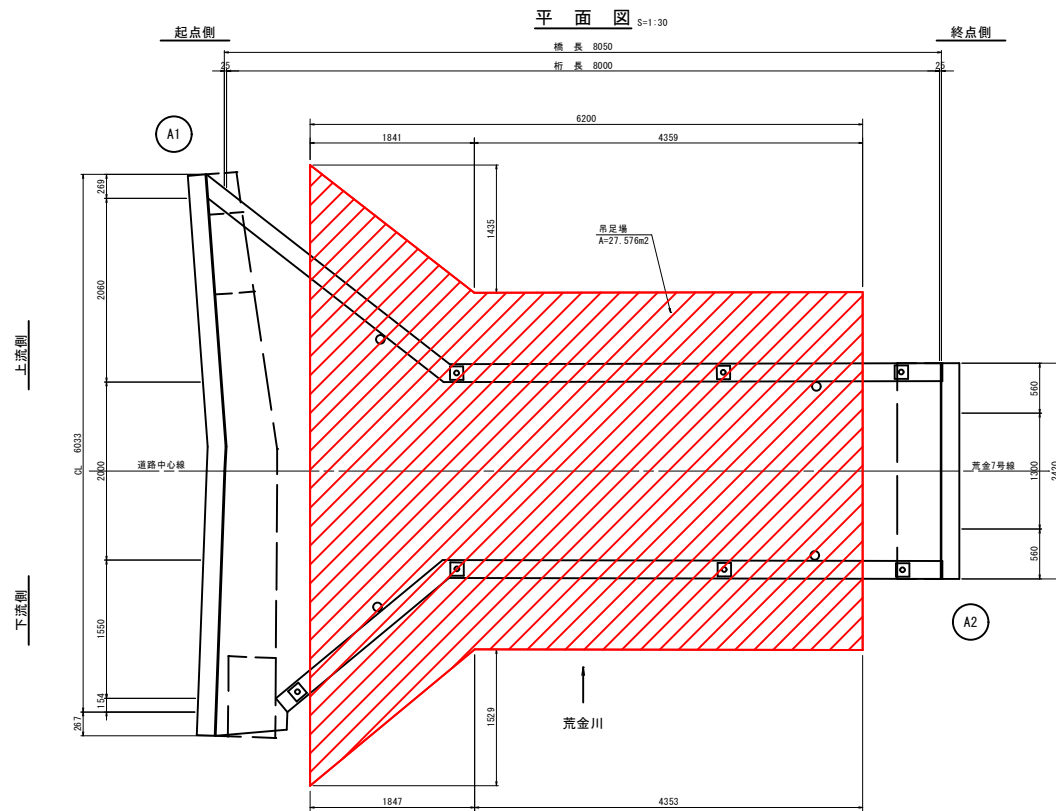
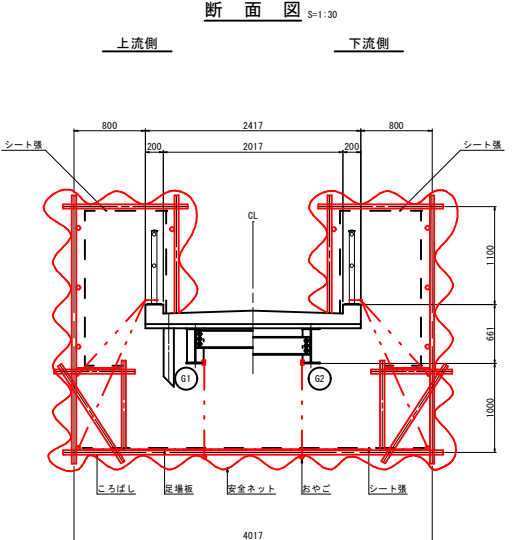
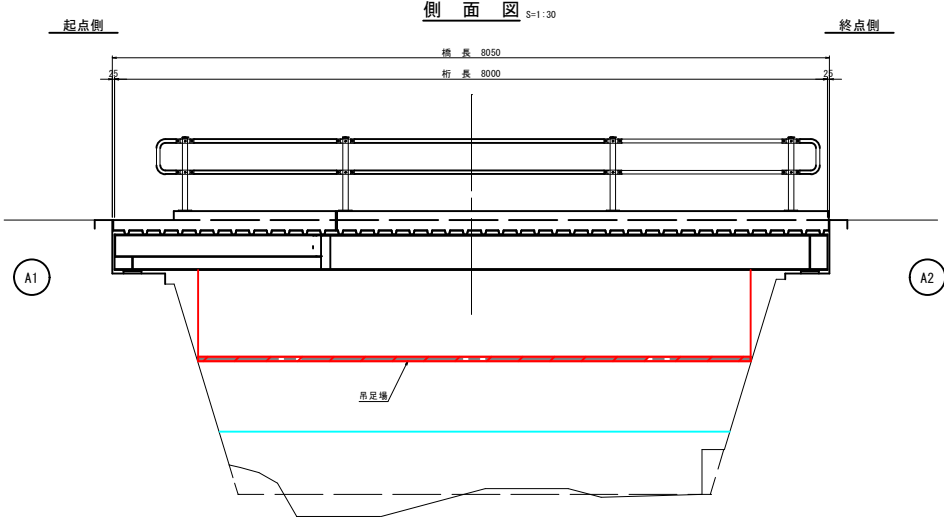
配置図



- 注記)
- 特記なき材質は、SS400を示す。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て地止めナットを使用すること。
 - 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測定し、施工方法を確認すること。

路線名	荒金7号線		
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事			
図 名	7-21号橋 排水管補修工図		
位 置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 10 葉中の内 9		
岩美町役場 建設水道課			

7-21号橋 足場工参考図



注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。

2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

路線名	荒金7号線
町道荒金7号線(無名橋101)橋梁補修工事	
図名	7-21号橋 足場工参考図
位置	岩美郡岩美町大字 荒金 地内
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 10 葉中の内 10
岩美町役場 建設水道課	
令和8年度施工	